

◆編集・発行

茨城県茨城郡茨城町小堤1080
〒311-3192
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
平成30年9月末現在
男 16,419人
女 16,337人
総人口 32,756人
世帯数 13,082世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の情報発信中!!



●町公式ホームページ

<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



●町公式ツイッター

<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



●町公式インスタグラム

https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.75 ハシビロガモ

(カモ科)

学名 *Anas clypeata*

写真・文 山口 萬壽美

▼冬鳥を楽しむ
さあ、今年も冬の渡り鳥をじっくり見られる季節がやってきました。昨年は、涸沼へ珍鳥のカオグロアメリカムシクイなども飛来しました。今冬も楽しみですね。

▼主な特徴
幅広くて、長く黒い嘴がこの鳥の一番の特徴です。シャベルのような嘴を水面につけたまま開閉し、水上をぐるぐるとまわって、プランクトンなどをこしとりながら食べます。また、逆立ちをして水中のえさをとることもあります。体長は70〜75cm。雄は頭部が暗褐色で、胸部は白く、腹部は栗色です。また、背、上

尾筒と下尾筒は黒く、黄色の虹彩です。雌は全身が褐色で黒褐色の斑があります。鳴き声は「クエツ、クエツ」と鳴きます。

▼分布

ユーラシア大陸、北アメリカ北部で繁殖します。冬季は、南インドなどで越冬し、日本では冬季に全国で見られます。湖沼や河川などを好む美しい鳥です。

▼涸沼の水をきれいに保とう

昭和61年(1986年)8月、台風10号の影響で、県南の河川が大洪水となりました。涸沼大橋下流域で飼育されていた多くの豚が水害で死亡

するほか、豚小屋からの汚水が周囲に流出し、周辺の溜池にも流入。水が黄緑色から褐色となり、アオコなどが発生していました。そして10月に入ると、涸沼周辺に多くのカモ類が飛来。コガモ約200羽、ハシビロガモ約300羽が、この汚水周辺に飛来し、汚水に生息する植物性プランクトンや、緑藻類や珪藻類プランクトンなどをついばんでいました。

しかし、私はこの鳥を汚水の物差し鳥の指標としてはいけなと思っています。河川の水を、いつもきれいに保つために、家庭用水の排水などにも注意しましょう。

ちびっ子アート 大戸幼稚園



「かっこいいさめがいたよ」
まつした ゆうま (5歳)



「かわいいはりねずみ」
なかやま あいな (5歳)